ホームページは
こちらから

2025
11
No.842

大阪の社会福祉

The social welfare in OSAKA

赤い羽根共同募金運動
～じぶんの町をよくするしくみ～

▲市社協職員が有志で街頭募金活動
（10月1日、上本町六丁目交差点付近）

高齢になるといろんな不測の出来事に出会う。いいこともあるのだが、どうしようもないアクシデントに見舞われることもある。我が家は妻と二人暮らしなのだが、その妻が転倒して、骨折してしまった▼家事のほとんどを担ってくれていた妻が入院し、退院後もベッドと車いす生活で、病院への送迎から家事、介護事業者との交渉などもすべて私の手に委ねられることになった。単身生活を長くしていたので、家事の手順はちゃんとマスターしているつもりだが、いくつか困ることもあった▼例えば、食事の献立。自分一人なら何でもいいし、近所に食べに出ることでも済ませられる。ところが、外出のできない妻を満足させる食事は安易にはできない。しかも毎日3食となると、そんなにレパートリーはない。これが一番苦労した▼家事をすることはそれなりに楽しく、妻が手を抜いていた風呂場の隅々をきれいにしたり、捨てられなかった不要なものを捨てたりした後は気分爽快にもなった。しかし、喧嘩しながらでも役割分担しながら、まさに日常を早く取り戻したいとつくづく思った▼高齢になると、新しい暮らしを作ることはそう簡単ではない。元気なうちに覚悟や準備をしておかなければ。（石）

社会福祉法人
大阪市社会福祉協議会

「大阪の社会福祉」は共同募金助成金を活用して発行しています。